

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	電子機械工学特別実験
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	93034	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験	単位の種別と単位数	学修単位: 6		
開設学科	電子機械工学専攻E	対象学年	専1		
開設期	通年	週時間数	前期:8 後期:8		
教科書/教材	/講義の都度、適宜プリントを配付する				
担当教員	上木 諭, 杉浦 藤虎				
<b>到達目標</b>					
(ア)ものづくりのテーマの目標にあわせて、専門知識を用いた技術提案ができる。 (イ)専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する。 (ウ)構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる。 (エ)ものづくりの工程の試運転時に発生した問題に解決案を提案できる。 (オ)自主的、継続的なグループ作業を行った結果、企画から完成までの過程を総括し報告することができる。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目(ア)	課題に対して、専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現できる	課題に対して、専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い機能を実現できる	課題に対して、相互協力により信頼性の高い機能を実現できない		
評価項目(イ)	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	生産システムを制御するための基本的なプログラムの開発ができない		
評価項目(ウ)	試運転時に発生した問題に解決案を提案し、本運転を通して最終的な総括、報告をすることができる	試運転・本運転を通して最終的な総括、報告をすることができる	試運転・本運転を通して最終的な総括、報告をすることができない		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<p>学習・教育到達度目標 A5 電気・電子システム工学の基礎知識・技術が、ものづくりの現場や実験実習の中でどのように生かされているかを認識し、理論学習の出発点としている。</p> <p>学習・教育到達度目標 A6 電気・電子回路の設計および実験実習を通してものづくりに必要な実践的知識とスキルを身に付けるとともに、安全意識を身につけている。</p> <p>学習・教育到達度目標 C5 複数の解決案を比較検討する等により、解決策を選択できる。</p> <p>学習・教育到達度目標 D1 実験・研究内容を整った章立てに従い、分かりやすい日本語で記述できる。</p> <p>学習・教育到達度目標 D2 研究内容を聴衆に合わせて分かりやすい日本語で発表できる。</p> <p>学習・教育到達度目標 D3 他者の発表内容を理解し、的確に質問できる。</p> <p>JABEE d 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力</p> <p>JABEE e 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力</p> <p>JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力</p> <p>JABEE h 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力</p> <p>JABEE i チームで仕事をするための能力</p> <p>本校教育目標 ② 基礎学力 本校教育目標 ③ 問題解決能力 本校教育目標 ④ コミュニケーション能力</p>					
<b>教育方法等</b>					
概要	この科目は、ものづくり工程における生産システムの企画段階から構想・設計・製作・組立・調整・試運転に至るまでの各工程に必要な機械・電気・情報の幅広い専門知識と、専門外の領域への配慮とコミュニケーションを通じて、プロジェクトマネージャーとして必要な管理能力を学ぶ実習形式の授業である。本実験でのものづくり工程の経験を通して自主的、継続的に学習していくための能力を身につける。なお、全30週のうち、第7週(予定)の授業では、ものづくり企業の技術研修所に出かけ、製造設備開発に必要な基礎スキルについて、実践的な技能研修を受ける。				
授業の進め方・方法	本実験は最初から最後まですべて学生が主体となって取り組み、ものづくり工程の経験を通して自主的、継続的に学習していくための能力を身につける。				
注意点	ものづくり一気通観エンジニア養成のために準備したロボットを用いて、機械、電気、情報の3分野の学生と、企業技術者が共同して、一つのテーマに取り組む。必修				
<b>選択必修の種別・旧カリ科目名</b>					
<b>授業計画</b>					
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標	
		1週	安全指導、ものづくり工程の企画・構想	ものづくりのテーマの目標にあわせて、専門知識を用いた技術提案ができる	
		2週	安全指導、ものづくり工程の企画・構想	ものづくりのテーマの目標にあわせて、専門知識を用いた技術提案ができる	
		3週	ものづくり工程の治具・機構部の開発・設計(電子・機械・ソフトウェア設計を中心にして)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		4週	ものづくり工程の治具・機構部の開発・設計(電子・機械・ソフトウェア設計を中心にして)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		5週	ものづくり工程の治具・機構部の開発・設計(電子・機械・ソフトウェア設計を中心にして)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		6週	ものづくり工程の治具・機構部の開発・設計(電子・機械・ソフトウェア設計を中心にして)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
		7週	デザインレビュー(設計内容を発表し指導を受ける)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	
	8週	デザインレビュー(設計内容を発表し指導を受ける)	専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する		
	2ndQ	9週	デザインレビュー後の修正		専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する
10週		デザインレビュー後の修正		専門分野外の機能を理解し、相互協力により信頼性の高い安価な機能を実現する	

後期		11週	構成部品の製作、プログラムの作成	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		
		12週	構成部品の製作、プログラムの作成	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		
		13週	構成部品の製作、プログラムの作成	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		
		14週	構成部品の製作、プログラムの作成	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		
		15週	構成部品の製作、プログラムの作成	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		
		16週				
	3rdQ		1週	構成部品の製作、プログラムの作成	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
			2週	構成部品の製作、プログラムの作成	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
			3週	プログラムロード・デバック	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
			4週	プログラムロード・デバック	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
			5週	プログラムロード・デバック	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
			6週	プログラムロード・デバック	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
			7週	治具・機構部組立と配線・配管	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
			8週	治具・機構部組立と配線・配管	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる	
		4thQ		9週	治具・機構部組立と配線・配管	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる
				10週	治具・機構部組立と配線・配管	構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる
11週	治具・機構部組立と配線・配管			構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		
12週	治具・機構部組立と配線・配管			構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		
13週	治具・機構部組立と配線・配管			構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		
14週	治具・機構部組立と配線・配管			構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		
15週	治具・機構部組立と配線・配管			構成部品の設計・製作、生産システムを制御・管理するための基本的なプログラムの開発ができる		
16週						

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		課題			合計
総合評価割合		100			100
専門的能力		100			100